

# 常設展「オカモト・ア・ラ・モード おしゃれの法則」

Okamoto à la mode The Law of Fashion

2025年4月17日(木)~7月13日(日)



《美女と野獣》1949年

「生活の中に色や形が溶け込んでいくところ、芸術としての意味がある」\*  
様々な分野において型をやぶろうとしてきた岡本太郎。

フランスから帰ってきてから、日本の色彩はくすんでいるといった発言をたびたび繰り返している岡本は、手近な芸術的表現としてファッションについて言及しています。若き日に学んだ民族学、そして文化人類学の知見から、人間にとっておしゃれとは、肉体をより一層引き立てることから始まっており、おしゃれはたたかいなのだ、岡本は考えていました。

自身の着こなしについて取材をうけることもあった岡本の、学生服を「画一的」とする発言が、世間に論争を引き起こしたこともありました。

ネクタイ、スカーフ、浴衣の生地、婦人服、法被、カフスポタン、各種アクセサリ等、絵画や彫刻だけでなく、ファッションデザインも多く手がけた岡本の「おしゃれ」に関する考え方とともに、岡本の作品を紹介します。

\*『岐阜日日新聞』(1965年3月10日)インタビューより

## 《開催概要》

会 期 2025年4月17日(木)~7月13日(日)

会 場 川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

休 館 日 月曜日(4月28日、5月5日を除く)、5月7日(水)、5月8日(木)

観 覧 料 4月17日(木)~4月25日(金)、7月8日(火)~7月13日(日)

常設展のみ開催 一般 500(400)円、高・大学生・65歳以上 300(240)円

4月26日(土)~7月6日(日)

企画展とのセット料金 一般 900(720)円、高・大学生・65歳以上 700(560)円

※( )内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

主 催 川崎市岡本太郎美術館

同時開催 企画展「岡本太郎と太陽の塔—万国博に賭けたもの」(2025年4月26日(土)~7月6日(日))

※本展は写真撮影可能ですが、一部撮影不可の資料があります。

(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

## 展示構成

### 1章 おしゃれの文化人類学

日本のおしゃれの歴史にふれつつ、岡本太郎の母・かの子、岡本自身の服装等にも焦点を当てます。

### 2章 色彩

「学生服は画一的」という発言が物議をかもした学生服論争、岡本がデザインした服地《デッサンタッチ》について言及します。

### 3章 組み合わせ

岡本がファッションの造形にどう関わりを持ったのかをご紹介します。

### 4章 美しいときれい

岡本が主張する美しいとはどういうことなのかを紐解きます。

## みどころ

- スポットをあてられる機会の少ない、岡本太郎のファッションに対する考え方を、当時の資料と共にご紹介します。
- 《クリマ》《犬》などの著名な作品から、《疾走する眼》《駄々っ子》《歓び》などの人気の作品も展示します。
- 岡本太郎がデザインした色鮮やかなスカーフやネクタイから、岡本太郎モチーフの現代のファッションアイテムも展示します。

## 出品作品

岡本太郎の油彩、彫刻、ファッションデザイン、インダストリアルデザイン、収集資料等 約100点



《近鉄バファローズ キャップ》  
制作年不明



《若い太陽》制作年不明



《顔》1978年



《自由》1982年

## 関連イベント

担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時 5月24日(土)、6月21日(土) 14:00～  
会 場 岡本太郎美術館 常設展示室  
料 金 無料(要観覧料)  
申 込 不要。開始5分前に常設展示室にお集まりください。



ワンポイントトーク開催の様子

## お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：細川 広報担当：山内

([pr@taromuseum.jp](mailto:pr@taromuseum.jp))

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柵形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966